

整理番号 00370

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名（化学名、商品名等）

Magnesium Perchlorate, (Anhydron)

マグネシウム パークロレイト、(アンハイドロン)

販売者情報

会社

LECO ジャパン合同会社

住所

〒105-0014

東京都港区芝2丁目13番4号

住友不動産芝ビル4号館

担当

SDS 担当者

電話番号

(03) 6891-5800 FAX 番号 (03) 6891-5801

製造者情報

会社

LECO Corporation

住所

3000 Lakeview

St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.

緊急時電話番号

Chemtrec Int'l

703-527-3887

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的有害性 : 酸化性固体 区分 2

ラベル要素

絵表示 :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : 火災助長のおそれ、酸化性物質

注意書き

安全対策 : 熱から遠ざけること。禁忌物質から遠ざけること。可燃物との混合を回避するために予防策をとること。適切な保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

応急措置 : 火災の場合には適切な消火方法をとること。

保管 : データなし

廃棄 : 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

消防法 第2条危険物第1類第1種酸化性固体に規定する危険物

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別： 化学物質

化学名	過塩素酸マグネシウム
成分及び含有量(wt%) *	100
化学式又は構造式	Mg(ClO ₄) ₂
官報公示整理番号	
化審法	1-234
安衛法	危険物(酸化性の物)
P R T R 法	第1種 602
CAS No.	10034-81-8
国連番号及び国連分類	1475(過塩素酸マグネシウム)クラス 5.1 等級II

* 特定の成分、含有量は企業秘密として公表を差し控えています。

4. 応急措置

吸入した場合	ダストを吸入した場合、すぐに新鮮な空気のある場所に移動させる。毒物対処機関または医師に相談する。
皮膚に付着した場合	多量の水ですぐに洗い流す。刺激がひどくなる/続く場合には医療アドバイスを受ける。
目に入った場合	目をこすらない。すぐに多量の水で洗い流し、15分以上続ける。コンタクトレンズを着用していて外せるようなら外す。刺激がひどくなる/続く場合には医療アドバイスを受ける。
飲み込んだ場合	すぐに医療機関に連絡する。水で口をよくすすがせる。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	眼の重篤な刺激。刺すような痛み、涙、発赤、腫れ、視野のぼやけなどの症状があげられる。上気道への刺激。
医師に対する特別な注意事項	一般的な処置及び症状に合わせた適切な治療を施す。
その他の情報	可燃物への接触により火災が発生する可能性がある。気分が優れないときは医療的アドバイスを受ける。医療スタッフが物質についての知識があること、スタッフの保護措置にも気を付けさせる。この安全データシートを担当医に見せる。

5. 火災時の措置

消火剤	霧水、水
使ってはならない消火剤	知見なし
火災時の特有の危険有害性	可燃物の燃焼を増大させる。加熱されると容器が爆発するおそれ。火災時に健康に有害なガスが発生する可能性がある。
特有の消火方法	火災/爆発の際はヒュームを吸入しない。危険なく行える場合は容器を火災場所から遠ざける。火災の際はタンクを水スプレーにより冷却する。
消火を行う者の保護	自給式呼吸器と全身の保護衣を着用。
一般的な火災の危険性	火災を増大させるおそれ。酸化剤。可燃物との接触により火災が発生する可能性がある。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外を退避させる。漏えい場所から関係者以外を遠ざけ、風上に避難させる。可燃物等に近づけない。清掃中は適切な保護衣を着用すること。
環境に対する注意事項	排水、水路または地面への流出を防ぐ
封じ込め及び浄化の方法及び機材	発火源をすべて取り除く(付近では喫煙、炎、火花は厳禁)。木、紙、油等の可燃物を近づけない。汚染された場所を換気する。ダストが空気中に放出されないようにする(ダストを圧縮空気で吹き飛ばしたりしないこと)。廃棄容器に漏出物を掻き入れる。汚染場所を掃く必要がある場合は製品と反応しないダスト抑制剤を使う。HEPA フィルター付き掃除機を用いてダストを収集する。ダストの発生、蓄積を最小限にする。清掃には適切な保護具を着用する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項	熱に近づけない。ダストが発生する場所には適切な換気を設ける。ダストの発生、蓄積を最小限にする。定期的な清掃を行い表面にダストが蓄積するのを防ぐ。衣類など可燃物から遠ざける。可燃物との接触を防ぐために予防策を講じること。ダストを吸入しない。眼への接触を防ぐ。適切な保護具を着用する。取扱後はよく手洗いを行う。産業衛生に気を配る。
安全な保管条件	鍵をかけて保管する。可燃物のそばに保管しない。熱から遠ざける。涼しく乾燥して直射日光の当たらない場所に保管する。製品の入っていた容器のまま密閉して保管する。換気の良い場所に保管する。混触危険物に近づけない(第10項を参照)。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(暴露限界値)	暴露限界値は設定されていない。
生物学的限界値	生物学的暴露限界値は設定されていない。
設備対策	取扱い、熱加工などで発生するダストやフェームを効果的に取り除き、蓄積を防ぐために十分な換気を行う。眼の洗浄設備と緊急用シャワーを備える必要がある。
保護具	
眼/顔の保護	サイドシールド付き保護メガネまたはゴーグル。ダストが発生する場合、密着するゴーグルを使用する。
皮膚の保護	
手	適切な耐薬品グローブを着用する。グローブは頻繁に取り換えること。
その他	適切な保護衣を着用する。
呼吸器の保護	ダストにさらされる場合呼吸器を使用する。
熱的危険	必要な場合熱保護衣を着用する。
一般的な衛生事項	衣類など可燃物との接触を避ける。汚染した衣類はすぐに取り除き洗う。ダストを吸入しない。眼の接触を避ける。製品を取扱い後と休憩の前は手をよく洗う。産業衛生に気を配り取り扱う。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	
形状	粒状または粉状
色	白
臭い	なし
融点・凝固点	250 °C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	入手不可
可燃性	入手不可
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	入手不可
引火点	入手不可
自然発火点	入手不可
分解温度	>250 °C
pH	入手不可
動粘性率	入手不可
溶解度	熱を発生し非常によく溶ける
n オクタノール/水分係数	入手不可

蒸気圧	入手不可
密度及び／又は相対密度	2.20 g/cm ³ 推定
相対ガス密度	入手不可
粒子特性	入手不可
その他の情報	
爆発性状	爆発性はない
分子式	Cl-H-O4.1/2Mg
分子量	223.2g/mol
酸化特性	火災を増大させる；酸化剤
水溶液の pH	5-8(5%水溶液)推定

10. 安定性及び反応性

反応性	可燃物の燃焼をひどく増大させる
化学的安定度	通常の状態安定
危険有害反応可能性	有害な重合は起こらない
避けるべき条件	熱。ダストの拡散。衣類や可燃物の上でこの製品が乾燥すると火災が発生する可能性がある。混触危険物質との接触を防ぐ。
混触危険物質	強酸。可燃物。還元剤。水と激しく反応する。有機物質。
有害な分解生成物	塩化水素

11. 有害性情報

起こりうる暴露についての情報

吸入	ダストの吸入により呼吸器に刺激が起こる場合がある
皮膚	皮膚接触による悪影響は知られていない
眼	重篤な眼刺激を引き起こす
飲み込んだ場合	入手不可
物理的、化学的、有害性特性に関連した症状	重篤な眼刺激。刺すような痛み、涙、発赤、腫れ、視野のぼやけなどの症状。上気道への刺激。
毒物学的影響	
急性毒性	区分に該当しない

成分	種	試験結果
----	---	------

過塩素酸マグネシウム (CAS 10034-81-8)		
-----------------------------	--	--

急性		
----	--	--

その他		
-----	--	--

LD50		
------	--	--

マウス		
-----	--	--

1500 mg/kg		
------------	--	--

*製品への評価にはデータとして記載されていない成分が含まれている場合があります。

皮膚腐食性/刺激性	長期の皮膚への接触は一時的な刺激を引き起こすことがある
重篤な眼の損傷性/眼刺激性	重篤な眼の刺激を引き起こす

呼吸器または皮膚感作性	
呼吸器感作性	入手不可
皮膚感作性	この製品が皮膚感作性を起こすとは考えられていない
生殖細胞変異原性	本製品あるいは製品中に 0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない
発がん性	この製品は IARC,ACGIH,NTP,OSHA に発がん性物質として登録されていない。
OSHA 特定規制物質 (29CFR 1910.1001-1050)	記載なし
生殖毒性	この製品は、生殖毒性または発生影響を引き起こすとは予想されない。
特定標的臓器毒性 (単回暴露)	呼吸器への刺激を起こす可能性がある。
特定標的臓器毒性 (反復暴露)	入手不可
誤えん有害性	入手不可

12. 環境影響情報

生態毒性	この製品は環境に有害であるとは分類されていない。
残留性/分解性	知られていない。
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし
その他の有害影響	この製品による環境への悪影響（例えばオゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は考えられていない。

13. 廃棄上の注意

廃棄手順	内容物/容器の廃棄は地域/国/国際的規制に従い行う。
残余廃棄物/未使用製品	地域の規制に従う。空容器には製品が残っている場合がある。当該製品とその容器は安全に廃棄されなければならない。
汚染容器	空容器の再利用/廃棄には認証を受けた廃棄処理場に持ち込まなければならない。

14. 輸送上の注意

DOT

UN 番号 UN1475

UN 正式品名 過塩素酸マグネシウム
分類
等級 5.1
副次危険性等級 -
ラベル 5.1
容器等級 II
使用者への注意 取り扱いの前に本 SDS を読むこと

IATA

UN 番号 UN1475
UN 正式品名 過塩素酸マグネシウム
分類
等級 5.1
副次危険性等級 -
ラベル 5.1
容器等級 II
ERG コード 5L
使用者への注意 取り扱いの前に本 SDS を読むこと

IMDG

UN 番号 UN1475
UN 正式品名 過塩素酸マグネシウム
分類
等級 5.1
副次危険性等級 -
ラベル 5.1
容器等級 II
使用者への注意 取り扱いの前に本 SDS を読むこと

DOT



IATA;IMDG



15. 適用法令

消防法	第2条危険物第1類第1種酸化性固体
労働安全衛生法	施行令別表第1危険物(酸化性の物)
毒物及び劇物取締法	該当せず
化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律	非該当
化学物質排出把握管理促進法	施行令第2条 別表第1(第1種指定化学物質) 602
国連番号	1475 (過塩素酸マグネシウム) クラス 5.1 等級 II
IMDG	クラス 5.1 等級 II
船舶安全法	第3条危険物告示別表第1酸化性物質類
航空法	施行規則第194条危険物酸化性物質類
港則法	施行規則第12条危険物告示酸化性物質
TSCA	10034-81-8
EINECS	2331083

16. その他の情報

参考文献	本製品の英文 SDS(030821) : LECO Corporation
	JIS Z7252 (2019) GHS に基づく化学品の分類方法
	JIS Z7253 (2019) GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル、作業場内の表示および安全データシート
	化学便覧 : 丸善
	職場のあんぜんサイト : 厚生労働省
	NITE 化学物質総合情報提供システム : 独) 製品評価技術基盤機構

作成：平成13年1月1日

改訂：平成21年10月13日（書式改訂）

平成22年4月27日（法令見直し）

平成23年7月11日（住所変更）

平成24年3月1日（法令見直し）

平成27年11月27日（書式、法令見直し）

平成28年5月31日（法令見直し）

令和4年2月7日（法令見直し、2019年版 JIS 対応）

令和5年4月1日（法令見直し）

* 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。

尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。